報道関係者 各位

2025 年 5 月 29 日
株式会社 SHIFT

生成 AI 社内活用・定着の成功メソッド「生成 AI 360°」の提供を開始

約半年間で独自生成 AI ツールの社内活用率を 3 倍以上の約 80%へと成長させた実績に基づき、体系的な AI 活用施策をパッケージで提供

お客様の売れるソフトウェアサービス／製品づくりを支援する株式会社 SHIFT（本社：東京都港区、代表取締役社長：丹下 大、プライム市場：3697、以下 SHIFT）は、生成 AI の社内活用・定着のための成功メソッドをパッケージ化した「生成 AI 360°」の提供を開始します。

2024 年 9 月から 2025 年 3 月までの約半年間で、独自生成 AI ツールの社内活用率を当初の 3 倍以上の 76%まで成長させ、合計 825 の業務プロセスを AI 化した SHIFT の実績に基づき、生成 AI の社内活用・定着を成功させるために必要な施策を体系化し、提供します。生成 AI の導入から、ゴール設定、ゴールに向けての体制・ツール整備、生成 AI 活用を促進するための各種活性化施策に至るまで、企業における生成 AI 活用・定着を実現するため、全方位型で支援します。

＜提供開始の背景＞

■国内企業の生成 AI 活用を阻むさまざまな課題

生成 AI が全世界的に急速に普及しつつあるなか、生成 AI の活用方針を全社的に定めている企業の割合は、アメリカで 46.3%、中国で 71.2%と増加傾向にあります。一方で、日本国内企業は 15.7%にとどまっており、生成 AI 活用による恩恵を受けられている企業はまだ一部に限られているという現状があります（※）。

生成 AI の全社的な導入・活用を実現するには、具体的な活用アイデアを想定する必要がありますが、AI に関するリテラシーやスキルを有する人材は限られており、多くの企業で人材確保が課題となっています。また、生成 AI の導入・活用方針を定めた企業においては、従来の業務ツールやシステムと同様、トップダウンで生成 AI 活用が推進されるケースが多いことが課題のひとつとなっています。生成 AI の活用メリットやリスクを正しく組織内に共有せず、AI 戦略を牽引する体制やノウハウの整備が不足したまま導入・活用が進んでしまうことも多く、業務現場や社内ユーザー一人ひとりのニーズや能力とのギャップが生じ、組織定着が困難になるという事態も発生しています。

（※）総務省「令和 6 年度版情報通信白書」 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/pdf/index.html

■2025 年 3 月までの約半年間で独自生成 AI ツールの社内活用率を 3 倍以上に成長

SHIFT は、ビジネス進化と生産性向上を目指し、2023 年より業務での AI 活用に取り組んでいます。2024 年より全社的な AI の徹底活用を経営戦略に据え、従業員の AI リテラシー向上を目的とした施策を展開するトップダウンの推進アプローチとともに、各業務現場のニーズに応じた PoC や生成 AI ツールの内製開発・提供、勉強会などの定期的なイベント開催といったボトムアップでの推進アプローチも平行して進めています。

こうしたトップダウンとボトムアップ両面からの推進アプローチにより、2024 年 9 月時点で 23%だった独自生成 AI ツールの社内活用率を、2025 年 3 月時点で 76%まで向上させ、約半年間で 3 倍以上成長させることに成功しました。また、全社的な AI 徹底活用の取り組みを通じて、各部門の合計 825 の業務プロセスを AI 化し、月間 1,500 万円のコスト削減効果を見込むまでに至っています。

この度、業界・業種や規模を問わず、多くの国内企業が抱える生成 AI の導入・活用・組織定着の課題を解決すべく、SHIFT のこれまでの生成 AI 活用施策や実績を独自の成功メソッドとして体系化した「生成 AI 360°」の提供を開始することといたしました。生成 AI 活用に関する戦略策定からボトムアップでのカルチャー醸成まで全方位型で支援することで、国内企業における生成 AI 普及と、それによるさらなる競争力と生産性の向上に貢献してまいります。

＜「生成 AI 360°」について＞

生成 AI 360°は、SHIFT がこれまで実践してきた各種社内活用施策のうち、特に効果の高い施策群を体系化した、SHIFT 独自の生成 AI 社内活用・定着の成功メソッドです。全社的な活用方針策定からツール導入、カルチャー醸成まで、トップダウンとボトムアップを組み合わせた、経営層と社内ユーザー双方のニーズを満たす全方位型のアプローチで、生成 AI の組織浸透を強力に推進します。

提供内容は、企業のニーズや予算に応じて柔軟にカスタマイズします。業界・業種、企業規模ごとに異なるさまざまなニーズに対応可能です。お気軽にお問い合わせください。

・サービスに関するお問い合わせ：https://service.shiftinc.jp/contact/

■生成 AI 導入～組織定着までの各プロセスに応じた施策を提供

生成 AI を導入してから、組織に定着するまでの過程を 5 つのプロセスに分類し、各プロセスに応じた最適な施策を提供します。

1. 機会創出：使いやすく、セキュアな生成 AI 利用環境をユーザーに提供する

経験・スキルの有無によらず誰でも簡単に利用できるノープロンプト生成 AI ツール「天才くん」の導入・活用を支援します。
ニーズに応じて、プロンプト作成支援や、研修・勉強会の開催なども行います。

2. 観察：ユーザーの生成 AI 利用ログを分析し、洞察を得る

導入した生成 AI ツールの利用傾向を分析することで、AI 適用業務のニーズや社内ユーザー層の可視化を行います。また、その結果に基づき、KPI や社内ユーザー向けのガイドラインの整備・管理を行い、トップダウンでの生成 AI 活用推進を支援します。

3. 施策最適化：ユーザー層ごとに、個別施策を展開し行動を促す

ユーザー層ごとに最適な活用推進施策を展開し、社内ユーザーの行動変容を促進します。

（施策例）
・未利用者／プロンプト初心者向けの「伴走型勉強会」：プロンプトの基礎知識から書き方のコツまでをワークショップ形式で解説
・無関心層向けの「部署別人気ツールランキング」の定期発信：自分ごと化してもらうために、部署ごとに人気ツール、活用シーンを訴求

4.　個別成果創出：業務現場に深く入り、各部門固有の成果を創出する

各部門固有の業務を AI 化し、時間短縮・コスト削減効果を創出した SHIFT のノウハウを活かし、各部門がもつ業務課題を可視化。各業務課題の解決に特化した生成 AI ツールを作成・活用することで、部門固有の成果を創出します。

（施策例）

・人事部門：応募書類の要約・分析により採用確度を算出し、選考通過率を向上／スカウトメール文案作成の効率化・品質向上

・営業部門：全営業行動データの日次サマリレポート作成・課題分析／提案書分析による提案内容の高品質化

5.　組織知化：部門間で個別成果を共有しあい、全社知見へと昇華する

全社横断で生成 AI に関するナレッジを共有する場として、社内コミュニティの立ち上げ・運用や、社内コンテストなどのイベント企画運営などを行います。業務活用へのモチベーションをより一層高めてもらうために、ボトムアップの施策を通じて、生成 AI 活用を社内カルチャーとして定着させるための仕組みづくりを行います。

（施策例）

・生成 AI についての業務活用 Tips や技術知見を共有する社内オンラインコミュニティの立ち上げ・運営

・生成 AI を活用した新たなビジネスモデルやサービスについて発表する社内コンテストなどの社内イベントの企画運営

・サービスに関するお問い合わせ：https://service.shiftinc.jp/contact/

＜SHIFT の AI ソリューションについて＞

SHIFT は、保有する膨大なデータを駆使して、AI の徹底活用を進めるとともに、多様な AI 関連ソリューションの開発・提供を進めてきました。今後はこれまでの AI 活用を通じて蓄積されたユースケースをもとに AI エージェント化を進め、社内でさらなる徹底活用を加速させることで効果を最大化し、将来的な事業化・ビジネス拡大に向けた研究開発を加速してまいります。

・SHIFT の AI ソリューション：https://service.shiftinc.jp/service_cat/ai/

＜株式会社 SHIFT について＞

SHIFT は、金融機関などのエンタープライズ領域におけるミッションクリティカルな基幹システムから、EC サイト、スマートフォン向けのアプリ・ゲーム検証まで幅広い分野のお客様に対するソフトウェアの品質保証・テストサービスで事業基盤をつくり成長をつづけてまいりました。現在は、「無駄をなくしたスマートな社会の実現」を目指し、ビジネスの構築からシステムの企画、開発、運用、セキュリティやマーケティング領域、さらには DX 推進まで、お客様の IT にまつわるあらゆるビジネス課題の解決をご支援しています。

名　　称	株式会社 SHIFT
代　　表	代表取締役社長　丹下 大
住　　所	東京都港区麻布台 1-3-1 麻布台ヒルズ森 JP タワー
U　R　L	コーポレートサイト https://www.shiftinc.jp/　サービスサイト https://service.shiftinc.jp/

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社 SHIFT 広報 IR 部 広報室　　Email：pr_info@shiftinc.jp